

琴海の夢・風 9月号

始業式…志定まれば、気盛んなり…全職員で子供たちの学びをサポートします。…

#子どもがいてこそ学校だ

新型コロナウイルス感染症の拡大や大雨による影響で、今年の夏休みも、子どもたちは自宅で過ごすことが多かったのではないのでしょうか。後半は部活動も中止になり、子どもたちの声が聞こえない学校はほんとにさみしい限りでした。今朝は子どもたちの明るい笑顔とともに元気な声が帰ってきて、やはり子どもがいてこそ学校だと改めて思った私です。

#金メダリストの言葉から

さて、今日の始業式では、東京オリンピックの柔道で金メダルに輝いた、長崎市出身の永瀬貴規選手のことについて話をしました。…以下あいさつから…

彼は、前回のリオ大会では金メダル候補と言われながらも銅メダルに終わったが、その時のことを思い出しながらこう言っています。

「リオの時は畳に上がる前にいろんな考えや迷いがあって自分に自信が持てず、それが試合にでた。だから、次は覚悟を決めて畳に上がるつもりでいた。この5年間でさまざまな想定をしながら準備やトレーニングを重ね、最後はやってきたことを信じて、自分を信じて畳に上がることができた。」

そして、「試合日から逆算して今何をする時期なのかを考えることで、本番にピークを合わせることに近づくんじゃないかと思って準備してきた。」と続き、最後に次の言葉を述べています。

「覚悟を決めてから次の目標に向っていく。」

私はこの言葉を聞いたときに、幕末の志士、吉田松陰の有名な言葉である「志定まれば、気盛んなり。」を思い出しました。これは、「人は目標が決まれば、意気が高まり、その実現に向けて全力を尽くすことができる。どのような障害にも立ち向かって、志を実現できるだろう。」という意味です。まさに、永瀬選手はそのとおり、金メダルという目標を達成することができたということです。…

#目標を立てても達成できないあなたへの提案

しかし、これは誰でもができることではありません。私もそうですが、目標を立てても達成できないことが多々あります。おそらく皆さんもそういうことが多いのではないのでしょうか？それは、目標の立て方が良くないのです。

そこで、皆さんに提案です。2学期のスタートにあたって、少し頑張れば達成できそうで、具体的な目標を立ててください。そして、クリアしたら次の目標を立てて取り組む。そうしながら、自分を一步步成長させていって欲しいと思います。…

2学期も、みんなの笑顔の虹がかかるように期待しています。

2学期行事についてのお知らせとお願いです。

新型コロナウイルスの中で、感染力が強いデルタ株と呼ばれるウィルスの増加が第5波の要因として報道されています。そこで、学校でも感染拡大防止に向けた取組を強化してまいりますので、どうぞ家庭でも正しい情報を収集しながら、一層の予防に努めてください。そのことで本日、養護担当から全校生徒へ指導を行いましたので、内容を確認してください。

さて、学校行事の実施においても、次のとおり考えておりますので、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

体育大会

- ①日時 9月19日(日) 9:00~12:00
- ②内容 密にならない活動を中心に短縮プログラムで実施
- ③保護者の参観について

市教委から原則無観客で実施するよう要請がっておりますので、本校でも応援のための参観はできないこととします。ただし、各家庭1名まで、お子様の撮影記録のための来校は認めます。感染防止のために無言で密にならないよう間隔を取りながら、お子様の出番の撮影が終わったら速やかに退出するようにしてください。詳しくは改めて通知します。

合唱コンクール

現在のところ、練習を密にならないようにするために、学年で時期をずらして実施するように考えております。

なお、あくまでも予定ですので了知ください。

- ①日時 10月12日(月) 午後に、3年生のみ実施、1,2年生についてはその後11月~1月ごろ実施。
- ②会場 琴海文化センター
- ③保護者の参観について 各家庭1名まで

命よりも大切なものではありません。しかし、学びを止めてはならないとの共通理解のもと、感染防止に全ての者が当事者意識をもって取り組み、工夫しながらやっていくことが子供たちのためには必要であるとの強い思いです。

県中総体の表彰・・・3年宮野さんに、①女子50m自由形第1位、②女子100m自由形第2位、③九州



中学校水泳大会参加証の表彰伝達をしました。感想を聞きましたので紹介します。

Q1 参加しての感想は? → 「練習があまりできなくて、自分の泳ぎができなかったのが悔しい。」

Q2 どんなことを考えて試合に臨んだか? → 「自己ベストを出せるよう迷わず最後まで全力で行こうと思った。」

Q3 参加して学んだことは? → 「九州の壁は厚い。上には上がいっぱいいる。もっと頑張らねばと思った。」

Q4 次なる目標は? → 自己ベストのタイムを超えることをまずは目標にしたい。

平和集会発表から

【実行委員長あいさつ 3年 中尾さん】

今から76年前の8月9日11時2分一発の原子爆弾によって長崎の人々の日常が奪われました。僕は平和人権実行委員長としてたくさんのことを考えました。

今日では新型コロナウイルスが猛威を振っています。平和集会のリモート、体育大会の延期など様々な制限がかかっています。被爆後の長崎の人々も同じように不自由な生活を送っていました。今の僕たちと重ねて考えてみると全く比較にはならないとは思いますが、少しはどれだけつらい日々を送られていたか想像できると思います。

その時を生きた人々の情報を集めることで理解し、後世へ伝えていくことが長崎に生まれた一人の人間として絶対に必要なことです。

今日は皆さんが調べたこと、知ったことを共有して理解を深めていきましょう。

【被爆体験講話を聞いて 1年 幸さん】

アメリカの人は「戦争を終わらせるために爆弾を落とした」と言ったそうですが、どれだけの人を犠牲にしたのか・・・と僕は怒りがこみあげてきたと同時に悲しくなりました。悪いことをしたわけでもない、普通に暮らしていた人が死ぬことになるなんてかわいそうだと思います。

僕の曾おばあさんは、被爆してやけどを負ったり、けがをしたりした人の手当てをしたと聞きました。いつも笑顔で優しかった曾おばあさんが、戦争の話をするときは、あまり思い出したくなさそうな顔をしているので、少ししか戦争の話聞いたことがありません。

しかし、山口彊さんのお子さんやお孫さんが、彊さんの遺志を受け継いで、戦争や原爆のお話をしてくださり、僕たちも地元長崎人として、いつか伝えなければならぬと思いました。また、何十年と戦争をしないで平和に暮らす日本、そして世界にしていきたいです。僕の親戚も戦争で亡くなったと聞きました。もし、戦争がなかったら・・・と思います。これからも山崎さんや原田さんにはお元気で、全国・世界中に原爆のことをつたえてほしいです。僕も長崎人として戦争・平和を発信できる人になれるよう頑張りたいと思います。

9月行事予定

日	曜	行事
1	水	始業式(学級委員任命式)
2	木	実力テストI(国理数)2年(英数国)
3	金	実力テストI(社英)2年(社理)
4	土	
5	日	環境整備(有志)
6	月	専門部会
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	体育大会
20	月	敬老の日
21	火	
22	水	体育大会予備日
23	木	秋分の日
24	金	19日実施の場合は振替休日
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	市学力調査(1年国数)2年英語IBA
29	水	
30	木	専門部会